

私と走り幅跳び

よしかず
大森 義和さん



◀メダルのデザインは栃木県の伝統工芸品である「鹿沼組子」がモチーフにされ、表面には桜のデザインが施されている。

【 いちご一会とちぎ大会 】

栃木県で開催された全国スポーツ大会。陸上競技を含む個人7競技と団体7競技合わせて全国から5,000人以上が参加。愛媛県からは個人競技20人と団体競技12人が出場し、計34枚のメダルを獲得した。

”跳ぶことを楽しむ”

愛媛県立第三養護学校（現：みなら特別支援学校）在学中陸上部に所属し、走り幅跳びの魅力に引き込まれた大森^{よしかず}義和さん。10月30日に開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」陸上競技の部に出場し、走り幅跳びで2位に輝きました。2019年の茨城県大会・2021年の三重県大会に国体選手として選ばれながらも、台風や新型コロナウイルスによる大会の延期・中止により無念の涙を吞みました。悔しさを胸に今年、3年ぶりの開催となった栃木大会で念願の国体に出場した大森さんは、嬉々として跳ぶことを徹底的に楽しみ、自身の持つ記録の中でも上位に入る3メートル67センチを記録しました。

「跳ぶ瞬間が一番楽しい。本番は今までの練習を思い出して緊張せずに飛べた」と銀メダルを片手に笑顔を見せる大森さんは、大会の2カ月前から僧都川の河川敷で走り込みを始め、大会に向け体づくりを行いました。自身にとって走り幅跳びは仕事や遊びと同じくらい大切なことであり、楽しく練習を積み重ねてきたことが大会時の心の余裕と経験値につながっています。

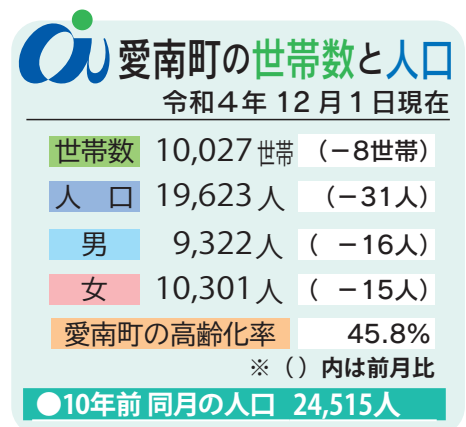
大森さんが次に目指すのは来年行われる鹿児島大会での1位。連続での全国大会出場を目指し、これからも練習に励みます。

編集後記

取材の申込時はいつも緊張と隣り合わせです。今月はぜひ取材してほしいとお声掛けが多く、先月号に続き陸上関係で頑張る人たちの所へ出向きました。

『偶然の出会いには何か意味がある』もしかしたら、『今年から運動を始めなさい』ということか…。新しい年を迎え、今年は小さなことからコツコツと積み重ねることを目標に。まずは、犬の散歩距離を延ばすことから始めることにします。 O

写真を撮影する際にどの角度から撮るべきか毎回悩みますが、車については迷わず斜め前、かつ若干見上げるような角度で。総合防災訓練では愛媛県警察が令和2年に導入した車両、パンツの「ユニモグ」が展示されていて何枚も撮影したのですが、限られた特集の紙幅であるため皆さんにお見せできないのが残念です。最近、すさまじい速度で時間が過ぎていく感じがして、取り残されないように今年も一年頑張ります。 M



編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>